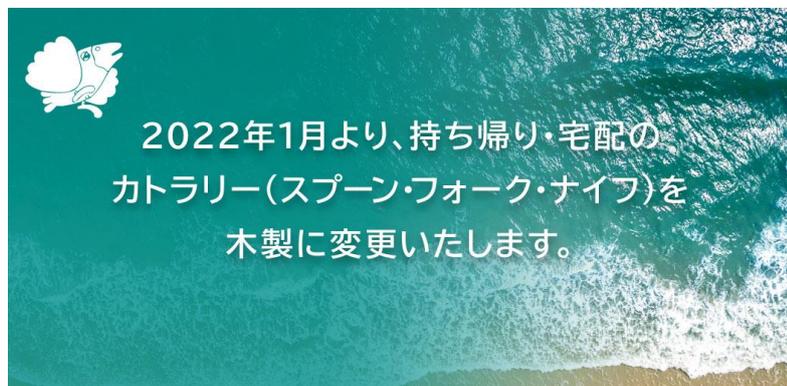




持ち帰り・宅配用カトラリーをバイオマスプラスチックから木製に変更【プラスチック製品を86トン削減】

株式会社すかいらーくホールディングス(本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部:証券コード 3197)は、プラスチック使用量削減の取り組みとして、2022年1月よりすかいらーくグループ各店舗の持ち帰り・宅配用のカトラリー(スプーン・フォーク・ナイフ)をバイオマスプラスチックから木製に順次変更いたします。



木製カトラリー

■すかいらーくグループ環境経営目標

	2030年までに	2050年までに
CO2排出量	2018年比25%削減 (売上百万円に対するCO2排出量の年平均1%以上の改善)	CO2排出量を実質ゼロにする
	2026年までに	2030年までに
使い捨てプラスチック使用量	2020年比で50%削減 環境配慮型素材の比率を50%に	石油由来プラスチック比率をゼロにする

■カトラリー切り替えによる効果

2022年の使い捨てバイオマスプラスチック製カトラリーの使用量を2020年比75%削減
プラスチック使用量を86トン削減

■カトラリーの仕様

木製のスプーン、フォーク、ナイフを紙製の包装に入れ、希望するお客様へ提供

■カトラリー切り替えスケジュール

2022年1月 すかいらーくグループ約3,000店舗で順次切り替え

■これまでのプラスチック削減の取り組み

プラスチックストロー 廃止	持ち帰り・宅配 レジ袋切替	持ち帰り・宅配 カトラリー切替	竹割箸の包装を 紙に切替	持ち帰り・宅配 容器包装切替
2019年7月末 グループ全店完了	2019年12月	2020年2月	2020年8月	2020年9月
ご要望のお客様には バイオマスストロー をお渡し (2018年8月発表)	石油由来のプラスチッ クから植物由来の バイオマス プラスチックへ切替	石油由来のプラスチッ クから植物由来の バイオマス プラスチックへ切替※	竹割箸の包装を プラスチックから 紙に切替	一部包材を 「タルク(滑石)」50% 以上の素材に切替
				

※2021年7月～

持ち帰りや宅配ご注文時、必要な方のみ提供する仕組みに変更

すかいらーくグループは、事業を通じたSDGs(持続可能な開発目標)への貢献を重要課題と位置づけ、サステナビリティ委員会を設置し、部門横断によるさまざまな取り組みを行ってまいりました。今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、地球環境保全にも積極的に取り組みます。

【企業情報】

商号 : 株式会社すかいらーくホールディングス(SKYLARK HOLDINGS CO., LTD.)
 代表者 : 代表取締役会長兼社長 谷 真
 事業内容 : フードサービス事業全般、その他周辺事業
 上場市場 : 東京証券取引所第一部(証券コード 3197)
 グループ店舗数 : 国内グループ 3,035店 海外を含む 3,101店 (2021年9月30日現在)

【報道関係者のお問い合わせ先】

株式会社すかいらーくホールディングス
 広報室: 北浦、山田 TEL: 0422-37-5310 E-MAIL: pr@skylark.co.jp

本リリースは、ステークホルダーの皆様へ当社の商品・サービス等の情報提供を目的としたものであり、当社株式への投資勧誘をするものではありません。投資に関する決定については、皆様ご自身のご判断により行われるようお願いいたします。当社は、サービスの提供を予告なく、中止・変更することがあります。